



みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和4年6月号
尼崎市立水堂小学校
尼崎市立水堂町1丁目32-8
TEL(06)6437-3804
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.htm>

ことばに愛を

小嶋 千花

「言霊ニ愛ヲ宿セ」お正月にテレビで観て、このことについて子ども達に伝えたいと思い、昨年度の3学期の始業式で話をしました。「言霊ニ愛ヲ宿セ」では小学生には難しいので、「ことばに愛を」に変えて伝えました。これは、長野県松本市の松本蟻ヶ崎高校書道部の方が書かれた言葉です。昨年夏に行われた「第14回書道パフォーマンス甲子園」で2回目の優勝を果たされたそうです。部長さんは、コロナ禍においてSNSでの誹謗中傷が目立ってきていると感じていること、「言葉に想いを込める」というのは当たり前のことだが、地域の方との関わりの中でたくさんパフォーマンスをさせていただいている私たちが一番伝えたい言葉、という感想を残しています。

私も先輩の先生から「ことばは言霊やから。子ども達にも簡単に人にいやなこと言ったり、悪口言ったりさせたらアカン」と言われていました。ことばではなく、言霊。心に響くことばです。

チクチクことばとふわふわことばは学校の授業でも取り上げられています。子ども達にも聞きなじみのある言葉です。チクチクことばよりふわふわことばを、と言っている、子ども達の会話の中でチクチクことばが出てくることがあります。思わず発してしまった言葉であっても、言われた方はとても傷つくし、心に残る。毎日の中で、自分の思いや気持ちは適切な言葉を使って伝えられる人になってほしいと思います。

そういうチクチクことばを使ってしまう子ども自身、心の中に何かモヤモヤした気持ちを抱えているかもしれません。子どもが発することばだけで判断するのではなく、その背景にも気持ちを馳せ、対応できる私達でありたいと思います。

この間、朝、子ども達の登校を迎えていたら、3年生の子ども達が「校長先生、“ことばに愛を”ですよ」と話しかけてきてくれました。廊下を掃除していると「きれいにしてくれてありがとうございます」スーツを着ている時には「今日の洋服、ステキですね」と言ってくれる子ども達。私も子ども達のことばからたくさん愛をもらっています。ことばでコミュニケーションする私達だから、ことばを大切に、子ども達にたくさんの愛を届けたいと思います。今日、寝る前にお子さんにことばに愛をこめて、ステキな一言、伝えてみて下さい。

【6月 行事予定】

日	曜日	項 目
1	水	自然学校
2	木	↓ 歯科検診（4年）
3	金	↓
4	土	
5	日	
6	月	朝会 クラブ活動 口座振替日
7	火	尿検査（再）
8	水	6年午前中授業（13時30分頃下校）
9	木	修学旅行
10	金	↓
11	土	
12	日	
13	月	委員会活動 生活点検週間
14	火	口座振替日
15	水	歯科検診（5年）
16	木	代表委員会 歯科検診（3年）
17	金	歯科検診（2年）
18	土	
19	日	
20	月	朝会（表彰） 水泳指導開始
21	火	歯科検診（1年）
22	水	脊柱側弯症検診（5年）
23	木	鑑賞会（3・4年）
24	金	
25	土	月曜校時 オープンスクール（午前中授業）
26	日	
27	月	代休日
28	火	現金徴収日
29	水	
30	木	ノート検定

【欠席・遅刻等のWEB受付について】

ミマモルメでお知らせしておりますが、保護者の皆様のスマートフォン等から、Google フォームを利用して欠席、遅刻の連絡を受けつけております。当日の朝8時10分までに入力していただきますよう、よろしくお願いいたします。欠席・遅刻等受付のGoogle フォームのURL が分からない方は担任へご連絡ください。

【クロームブック インターネット接続時間の制限について】

夜遅くのインターネット使用による視力の低下等、児童の健康面を考慮し、今年度より午後9時から翌午前8時まではインターネットの使用ができません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【電話対応（自動音声応答サービス）について】

勤務時間適正化に向けた取り組みとして、平日の自動音声応答サービス設定時間は、午後6時から翌朝7時45分になっております。また、土・日曜と祝日は終日、長期休業中は午後5時から翌朝8時30分になっております。なお、自動応答サービスの設定時間内であっても、学校からご家庭等に連絡する場合もございます。あらかじめご了承ください。

～職員より～ 『言わなくても伝わってしまう』

突然ですが、最近ショックだった話です。

先日、3年生の長男の参観に行きました。内容は、体育の「鉄棒」。体操を習っているわが子は、「逆上がり」「足かけあがり」を開始5分で難なくこなしてしまい、あとは担任の先生がテスト形式でその技ができているかをチェックするのみ。そのテストも終わったので、息子を褒め倒して、「お母さん、そろそろ仕事に行ってもいい？」と聞いてしまった私。すると・・・「いいよ。お母さん、仕事の方が大切やもんね。」と息子からの言葉。がっつんと脳に響きました。いや、そんなこと言ったことはありません！「いや、あんたの方が大事に決まってるやん！チャイム鳴るまでいるね！」と伝えましたが、時すでに遅し。とてもショックでした。毎日忙しさを前面に出してしまい「仕事の方が僕よりも大切なのは」と思わせてしまった事実。反省の一言です。

子どもは、本当に見ていないようでも見ていて、感じているのだなという実体験でした。「お母さん、あのさ・・・」と呼ばれた時には、「いま●●しているから、あとでね。」ではなく、手を止めて、その5分を惜しまないようにしたいと考えました。もう9歳ですが、まだ9歳です。正直、「だっこして」と来たときはだっこしています。子どもが求めている時に、求めている量の愛情を注いであげたいと感じた、母親としてまだまだ未熟な尾崎でした。

1年3組担任 尾崎 理子